

第219回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

- 1 開催年月日 平成28年6月13日(月) 11:00~12:00
- 2 開催場所 宇都宮グランドホテル
- 3 委員の出席 委員総数 6人  
出席委員数 5人
- (1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)  
君島 理恵 (副委員長)  
青木 敬信  
畠山 大  
町田 明久
- (2) 欠席委員の氏名 早川 富美子
- (3) 放送事業者側出席者 大森 敏秋 (代表取締役社長)  
関根 房三 (参与)  
床井 和夫 (参与)  
佐藤 望 (放送部長)  
古寺 雄史 (放送部課長)
- 4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

5月29日放送の特別番組「現代のカーライフ ～クルマってどうなの?」について、試聴と意見交換を行った。

事業者

栃木県は自動車保有台数が全国3位。しかし、全国的にみても、若者を中心にクルマ離れが進んでいるという傾向も…。この特番では、宇都宮市内の若者たちや、栃木県のクルマ愛好家、クルマジャーナリストなど、様々な人たちの意見を取り上げ、現代のカーライフの実態を探りました。

## 【 番 組 の 試 聴 】

委員：

クルマはFM放送の重要なリスニングポイントであり、クルマ社会を考えるという番組テーマは、とても興味を引くもので着眼点が良い。

また、番組の中で、クルマのCMにこれまで使われた楽曲をかけて全体を構成したのは良いアイデアだ。そのCMが流れていた時代を振り返ることが出来た。

委員：

車にあまり関心ないリスナーにとっても、とても興味深く聞くことのできる内容だった。

特に、愛好家が所有するフェラーリがエンジントラブルで2時間動かなくなり、試行錯誤の末、やっと動き出した瞬間を語った話は印象深く、クルマへの損得を超えた強い想いが伝わってきた。

さらに、栃木県内には優秀なカードクターやエンジニアが数多くいて、栃木県はクラシックカーも所有しやすい環境が整っているなど、興味深い情報が聞けた。

委員：

黒後さんの声は爽やかで聞きやすい。また、以前より滑舌もよくなっている。成長を感じた。

委員：

クルマ好きを謳う番組パーソナリティとして登場した黒後さんだったが、クルマの楽しさを十分に伝えきれておらず、少し物足りなさを感じた。

黒後さんがこれまでクルマとどう向き合ってきたのか、また、今回の取材を通して、何を知り、何を考えたのかを、番組の中で表現して欲しかった。

委員：

カーイベントやサーキットの現地取材パートでは、黒後さんのテンションが落ち着き過ぎたのか、インタビュー相手との会話の“受け”も弱く、話が展開せずに止まってしまっていた。

結局、イベントの背景や、実際のクルマを前にした際の臨場感など、リスナーが聞きたいと思うところには十分に触れられたとはいえ、番組全体としては、やや平坦に流れてしまった感がある。

委員：

かつて車は特別な嗜好品だった時代もあったが、最近では、一種の電化製品のように生活の便を満たすのに最低限必要なものにすぎなくなっている。

そのようにクルマに対する考え方は時代によって変化しているものの、栃木県が含まれる北関東では、交通事情などから車の保有率は高く、一概に“クルマ離れ”とは言い切れず、“クルマへの地域性”があるように感じる。

そうしたクルマ事情の地域性も盛り込んだ番組作りをしてほしかった。

委員：

番組の趣旨は「もっとクルマに乗ってほしい」ということかなと思って聞き始めたが、結局、クルマの現状を伝えていただけで、最後にまとめることもなく終わってしまっていた。

事業者：

番組の落としどころについては、いろいろと熟慮した上で、敢えて番組として結論を出さずに、リスナーに問いかける形とした。

スポンサーが付いた番組は、どうしてもその配慮から、そちらに寄った番組の作りになってしまう傾向があり、現状も自動車関係のスポンサーが多く、今回のような「クルマに対して興味が薄くなっている」というイメージの内容を番組とすることには、正直難しさがあった。

委員：

この番組の中で語られていたメッセージは、自動車メーカーにとっても、魅力あるクルマを今後作っていくために参考になる貴重な意見だったはずだ。

スポンサーへの配慮など、局として難しさもあろうが、このように客観的な姿勢で情報を伝えた姿勢は評価したい。今後もチャレンジした番組作りに期待したい。

(以上)

(2) その他

なし

(3) 次回開催日程について

次回の開催を7月11日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 6月26日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし